



▲講演する小野寺代表

講演会

市内で活動する「ネットワークCAP^{キャップ}さっぽろ」代表の小野寺^{おのの}み^こさんを講師に迎え「子どもを暴力から守り支えるうえで大人にできること」と題する講演会を開催しました。

講演では、実際に子どもが犯罪に遭遇したときに身を守るための知識や、技能など対処の仕方、そのとき子どもをどうサポートしていくかについての話がありました。

体験型学習

講演会に続き、ネットワークCAPさっぽろの指導のもと、区内の5カ所の児童会館と協力して、親子を対象とした体験型学習を行いました。

子どもと大人はそれぞれ別の部屋で、子どもは犯罪に遭遇した時にどう対処すればいいかを寸劇で体験し、大人は子どもをどのようにサポートしていけばいいかなどについての講義を受けました。

この中で、「子どもたちは安全に安心して生きることができ、自分の心の中や体が強いと感じられる自信が持て、自分が本当にしたいことを選ぶ自由がある」「子どもを孤立させないことが大切」との話がありました。



▲子どもたちも参加して



▲大人たちも真剣に



▲寸劇でわかりやすく

こんな内容が話されました

子どもたちができること

「いや!」
危ないと思ったら
いやだと言ってもいいよ!



それでもダメなら
逃げよう!



そして、どんなことがあったか
だれか信頼できる大人に相談しよう!

- ・つれていかれそうになったときは、むこうずねを蹴ったり足の甲を踏んで、逃げよう
- ・両腕を広げたくらい離れているとつかまれないよ
- ・知らない大人にあいさつ以上の事を聞かれたら気をつけよう

子どもに相談されたら

- まず話を聞いてください
 - ・子どもが話しやすい場所で
 - ・子どもと同じくらいの目の高さで
 - ・思い込みを持たないで、子どもを支持し、共感を持って耳を傾ける

- 再び危険に遭わないために何ができるか一緒に考えてください

- ・どんなことが起こったか、どんな対応をしたか、危険に遭わないためにできることは何か、子どもと一緒に考えてください
- ・その中で、どれが実際にできるか子どもが決める手助けをしてください
- ・できそうなことを一緒に練習してみてください



右ページのDVDの貸し出しとこのページに関するお問い合わせは

手稲区役所地域振興課まちづくり調整担当 ☎ 681-2400 (内線219・227)